

特定非営利活動法人

# 明るいシステム倶楽部 会報12月号

令和3年12月1日

(2021年)

国内では10月以降、新型コロナ禍の第5波が沈静化し、一般社会活動も少しずつ正常化に向かい、政府も緊急事態の新指標を策定するなど新たな見直しに入り、新規PCR陽性者数ではなく、医療体制の逼迫度を重視した基準へとより現実的な対応になってきました。

いずれにせよ、政府等は、感染症の一定程度の沈静化とは別に、新規の治療薬の早期開発及び使用、更には経済の正常化への積極的な施策をより迅速に打ち出すべきでしょう。

後者では、人の移動や滞留についてより緩やかな施策を打ち出すことが、特に交通業、観光業、飲食業、学校の授業等の正常化にも寄与し、国民の元気に繋がるように思います。

さて、当倶楽部におきましては現在、コロナ禍発生当初から非接触の会合にも力を入れ、お蔭様で下記の「気楽なZOOMサロン」以外にも、AKS市民大学3教室をZOOM形式で開講いたしており、少しずつ当会員を中心に浸透しつつあります。

- ・菊池教室；日本の良き伝統文化や習慣を再認識でき、心が落ち着ける機会を提供。
- ・柴原・松居教室；職場の人間関係の円滑化は、仕事以上に重要でかつ効果大のテーマ。
- ・宮崎教室；身近に経験するモヤモヤもスマートに解消し、問題解決に幅を生みます。少しでもご興味が湧くようでしたら、ぜひ一度ご参加いただけたらと思います。

## < 12月の送付物 >

- ・日本一明るい経済新聞 12月号
- ・粗品；「あいうえお2022カレンダー」⇒「来年も明るい一年に！」
- ・年会費ご納入のお願い（該当者のみ）

## < 年末年始休暇 >

- ・当倶楽部事務所の休業は、令和3年12月29日(水)～令和4年1月6日(木)とさせていただきますので、どうかよろしくお願いたします。



## < 12月の活動予定 >

12/1(水)	明るいセミナー	大阪産業創造館4階 イベントホール	18:30～21:00
12/11(土)	気楽なZOOMサロン <sup>⑬</sup>	当倶楽部会員専用の交流の場です。	20:00～21:30
12/15(水)	臨時役員会議 <sup>⑱</sup>	「今年を振り返る」	13:30～15:30
12/15(水)	明るいシステム検討会議(仮称)	「システムの基本に立ち返る」	16:00～17:00
12/16(木)	仏教雑学講座	河本 雪夫 会員	17:30～19:30

### AKS市民大学(ZOOM)

12/08(水)	菊池教室 <sup>⑪</sup>	「感性を育む和学講座」	20:00～21:30
12/22(水)	柴原・松居教室 <sup>④</sup>	「みんなで考える明るい職場」	20:00～21:30
12/25(土)	宮崎教室	「もやもや解決法」	20:00～21:30

## —— 全員参加の経営 ——

川上 広幸

**会社は誰が経営している**

会社は、会社自らの目的を達成するため、目標に向かい日々運営されていると思います。この運営を広い意味の経営ということにします。この経営、誰がしているのでしょうか？



勿論、経営陣が経営しているのですが、従業員はどうでしょう。従業員は勤めている会社について「この会社を経営しています」とは言わないし、思ってもいないかもしれません。反対に、社長をはじめ重役は、「この会社を経営している」と言いますし、思っています。この差は何でしょうか。

「報酬」と「給料」の違いでしょうか。会社からお金をもらって働いているという意味においては同じでしょう。では仕事の種類が違うのでしょうか。いや、「経営する仕事を与えられているか」、「会社の業に関する仕事を与えられているか」の違いでしょうか。何かしっくりしませんね。

**愚痴をいう**

例えば、・・「うちの会社はまだまだだ」などという言葉をよく聞きます。そのコメントを発している人は、その時点で「うちの人」ではないですね。うちの会社の一員ならば不具合の原因の一端は、その人にもあります。うまくいかない原因を、関係する人々の誰かの失敗に求めるのは過去の悪弊で、たとえ失敗があっても不都合が起こらないような仕組みにする、という方法は、人々を含んでいます。組織や社会が実現しなければならないこと。直接、間接を別にして改善のためのアプローチは、誰にでも取れるはずで、それをしないことは、ただの愚痴になってしまいます。会社の欠点や改善点に気が付くことは良いことです。

**愚痴にしない方法を身につける**

愚痴を愚痴にしない方法を身につける必要があります。抽象的に過ぎる表現であってもなお「全員参加せずに何ができるというのだろうか」と問わなければなりません。持ち場や立場の数だけ発想があるはずで、置かれている場所で、より良き状態にするために必要な発想が生まれ、一つ一つが改善していくこと、それがやがて全体の良さが高まることにつながっていくでしょう。

「経営者が言うことを聞いてくれない」会社だから何もできないのではなく、何もしない状態が何も変わらない会社を作っていることに気が付かなければなりません。

できない社員が多いから、全部自分で考えなければならないと思う経営者は、一人の能力で如何ほどできるのかと気が付いてほしいものです。

**全員参加の経営が成功の近道**

成功の対義語は失敗ではない。何もしないことです。「何もしない」には「変えるべき考えを変えない」ことも含まれます。意見が通らない会社でも、何度も意見を言い続けること。自分の能力の限界を知って、もっと社員に頼ること。これが大きな成功につながる近道でしょう。